



金融取

取引所株価指数証拠金取引

くろく株365



ゆたかCFD

取引ガイド

証券コード8747

豊トラスティ証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第299号
加入協会 一般社団法人金融先物取引業協会、日本証券業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



10680005

取引所株価指数 証拠金取引とは？

インターネットを活用して約24時間お好きな時間に、日経平均株価(日経225)やNYダウなどの株価指数のほか、金や原油などの上場投資信託(ETF)も取引できるサービスです。

取引所株価指数証拠金取引(くりっく株365)は、公的な取引所(株式会社東京金融取引所)における取引で、リセット付証拠金取引はリセット日において、残ったすべてのポジションが同取引所の提示するリセット値により清算される仕組みとなっていますので、透明性の高い取引です。

5つのメリット

Merit
01

朝でも、昼でも、夜でも、約24時間いつでもお取引のチャンス(一部指数を除く)。ゆたかCFDなら、夜中でもそのときのリアルタイムレートでお取引いただけます。

Merit
02

ご自宅やオフィスのパソコンからインターネットで、外出先から携帯電話でいつでも簡単アクセス。場所を選ぶことなくどこからでもお取引いただけます。

Merit
03

建玉によっては売買差益だけでなく、金利相当額や配当相当額による収益が期待できます。

Merit
04

証拠金でお取引いただけるため、資金効率(レバレッジ)に優れています。例えば日経225が38,000円のと、想定元本380万円を10万円という少額の資金で買った場合、このときのレバレッジは38倍に相当します。(相場が思惑に反して変動した場合、大きな損失につながることもあります。)

Merit
05

値上がりを予想した「買い」からの取引だけでなく、値下がり予想して「売り」からも取引できますので、どのような市場環境でも利益を追求できる楽しみがあります。

断然有利

有利なレート

取引できるレートは、複数の有力金融機関が提供する最も有利なレートを採用しています。

例	マーケットメイカー	買気配	売気配	スプレッド	最も有利なレート (狭いスプレッド) でのお取引が可能!	ゆたかCFD提示レート		
						買気配	売気配	スプレッド
A社		38,802円	38,810円	8円	➔	38,802円	38,805円	3円
B社		38,800円	38,805円	5円				

※マーケットメイカーとは、「買気配」及び「売気配」を常に提示し、その呼び値に対する投資家からの注文に応ずる義務を持つ取引参加者のことです。

有利な金利相当額・配当相当額

金利相当額・配当相当額がそれぞれ一本値(受取りも支払いも同じ金額)となっています。

例	ゆたかCFD		店頭取引		買建玉保有		売建玉保有	
	受取額	支払額	受取額	支払額	金利相当額	支払い	受取り	配当相当額
金利相当額	2円	2円	1円	2円	配当相当額	受取り	支払い	
	一本値(受取額=支払額)		受取額<支払額					

※配当相当額も金利相当額と同様その都度一本値となっています。

金利相当額・配当相当額が受取額と支払額で同額となっており、取引所及び当社が金利相当額・配当相当額から収益を得ることはありません。

ゆたかCFD(くりっく株365)の税制

▶ ゆたかCFDの税率

ゆたかCFD(くりっく株365)での利益は**申告分離課税**の対象となり、税率は20%+0.315%(復興特別所得税相当率)となります。所得が一定額を超えるお客様にとっては、とても有利と言えます。なお、給与所得者の場合、年間の取引の結果生じた利益を含め、雑所得の合計額が、20万円を超えた場合に課税の対象となり、確定申告が必要となります。その他の年金受給者や専業主婦の方などの場合は最寄りの税務署にお問い合わせください。

注) 2013年から2037年まで(25年間)の各年分の所得税額に対して、2.1%を乗じた金額(利益に対しては0.315%)が復興特別所得税として追加的に課税されます。

▶ 損益通算が可能

ゆたかCFDで発生した損益は、Yutaka24(くりっく365)や他の店頭FXなどの店頭デリバティブ取引、日経平均先物などの有価証券先物取引、金などの商品関連市場デリバティブ取引等で発生した損益と、損益通算をすることが可能です。



▶ 損失繰越控除が可能

ゆたかCFDで発生した損失のうち、その年に控除しきれない金額については、確定申告をすることにより、翌年以後3年に亘って雑所得等の金額から**繰越控除**をすることが可能です。

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
年間の損益	▲120万円	50万円	30万円	25万円	50万円
前年からの繰越損失額	—	▲120万円	▲70万円	▲40万円	—
繰越控除(確定申告)	—	▲70万円	▲40万円	▲15万円	—
納税額	0円	0円	0円	0円	101,575円※

※3年を超えて損失を繰り越すことはできません。従って、左記の例では5年目に損失を繰り越すことができないため、101,575円(50万円×20.315%)の納税が必要となります。

※損失の繰越控除の適用を受けるためには、損失が発生した年について、確定申告を行い、かつ、その後においても継続して確定申告を行う必要があります。

安心できる取引環境

Point 01

お客様からお預かりした証拠金は、全額取引所に預託され、その上で取引所の財産と分別して保管されます。万一当社が破綻した場合でも、お客様の証拠金は原則全額保護され、お客様の資産の保全が図られる仕組みとなっています。

Point 02

公的取引所の「東京金融取引所(金融取)」での取引だから、信用リスクが少なく安心です。ゆたかCFD(くりっく株365)では、お客様の取引の相手方は当社となりますが、当社の取引の相手方は金融取であり、間接的に金融取が全ての取引の相手方となります。そのため、万一当社が破綻した場合でもお客様の建玉を決済することができ、また、金融取が認める場合には他の取扱会社へ建玉を移管することもできます。

Point 03

ゆたかCFD(くりっく株365)では、金融商品取引法の業者登録基準に加え、金融取の株価指数証拠金取引資格及び株価指数証拠金清算資格に係る要件(資本金3億円・純資産20億円以上等)に適合した業者のみが参加できます。

お取引をはじめするには(口座開設の流れ)

Step 01	資料のご請求	当社指定の口座開設申込書類をご請求ください。
Step 02	申込書類・本人確認書類の送付	口座開設申込書類、ご本人確認書類、及び個人番号(マイナンバー)に関する書類を当社宛にご提出いただけます。
Step 03	口座開設審査	必要書類一式をご提出いただいてから通常3~5営業日で審査が完了します。
Step 04	ID・ログインパスワードの送付	ID・ログインパスワード及び振込先口座の記載された書面をお客様のご自宅に簡易書留(転送不要)にて郵送いたします。
Step 05	ご入金	ゆたかCFDのお取引に先立ち、ゆたかCFD専用の振込口座に証拠金のご入金をお願いいたします。
Step 06	お取引の開始	初回ログイン後、お客様ご自身でログインパスワードのご変更、並びに取引パスワードのご設定をお願いいたします。






ご入金について

口座開設の審査完了後、ゆたかCFD専用の振込口座を記載した書面を簡易書留(転送不要)にてご自宅宛にお送りいたします。お取引に必要な証拠金は、ゆたかCFD専用口座にお振込みください(振込手数料はお客様のご負担となります)。なお初回のご入金額は10万円以上となります。

クイック入金サービス

クイック入金サービスとは、取引画面からの簡単な操作で下記指定銀行のお客様のオンライン口座より、ゆたかCFD取引口座へ入金できるシステムです。ご入金は取引口座に即時反映され、平日だけではなく祝祭日でも、取引時間中であればいつでもご入金いただけます。

※初回のご入金時にはご利用いただけません。

ご利用いただける 金融機関		
 三井住友銀行	 PayPay 銀行	 セブン銀行



※ご入金における注意事項

預託金の振込人名義は、お客様のゆたかCFD取引口座と同一名義である必要があります。またお振込み後、当社で入金を確認し、お取引口座へ反映されるまでに時間を要することがありますのでご了承ください。なお、当社では迅速な処理を心がけておりますが、お客様のお振込みから取引口座に反映されるまでの間のリスク(ロスカット発動など)は負いかねます。

取引限度額

- お客様に余裕資金の範囲内でお取引をいただくために、「取引限度額(入出金差引合計額ベース)」を設定させていただいております。
- 取引限度額の拡大をご希望の場合には、書面による取引限度額拡大の申請手続きを行っていただいた上で、当社の審査を受けていただく必要があります。お申し出の内容によって、登録情報変更届等の書面を別途ご提出いただく場合があります。
- 追加証拠金発生時の対応のための取引限度額を超える入金が可能ですが、その場合、新規の建玉を行う取引は認められません。事前にお客様サポートデスクまでご連絡ください。(※追加証拠金の対応の詳細については、4ページをご覧ください。)

ログインID・ログインパスワード・取引パスワードの管理について

ログインIDとログインパスワードは、簡易書留(転送不要)にてご自宅へお送りいたします。なお、不正アクセス防止のため、ログインパスワードは初回のログイン時に必ずお客様ご自身で任意のもの(推測されにくいもの)へ変更していただく必要があります。また、ご注文時に必要な取引パスワードに関しましては、初回のログイン時にお客様ご自身でご設定いただくものになります。ログインID、ログインパスワード及び取引パスワードのお取り扱いにつきましては、細心の注意を払ってお客様ご自身で管理してください。(ログインパスワード及び取引パスワードは、当社再発行分を含めて5世代前までのものを使用することができません。)

口座明細と追加証拠金(追証)、ロスカットルールの確認

この証拠金維持率が大切です。

銘柄	買取付数量	買取付	売取付	売取付数量	現在の	ポジション
日経225(2021)	---	---	---	---	---	---
DAX(2021)	---	---	---	---	---	---
FTSE100(2021)	---	---	---	---	---	---
N.Y.9(2021)	---	---	---	---	---	---
金ETF(2021)	---	---	---	---	---	---
原油ETF(2021)	---	---	---	---	---	---
日経225	---	---	---	---	---	---
DAX	---	---	---	---	---	---
FTSE100	---	---	---	---	---	---
N.Y.9	---	---	---	---	---	---

更新	追加証拠金維持率	-%
有効証拠金額 (内訳)	995,450 円	現在のレバレッジ
-証拠金維持率	995,450 円	維持証拠金額
-受渡予定額	0 円	維持証拠金額
-出金依頼額	0 円	入金可能額
-評価損益	0 円	入金可能額
-金種・配付前当戻金計	0 円	入金可能額
証拠金余力	995,450 円	アラート維持率
証拠金不足額	0 円	アラート維持率
年間利益 (参考)	-847,520 円	ロスカット維持率

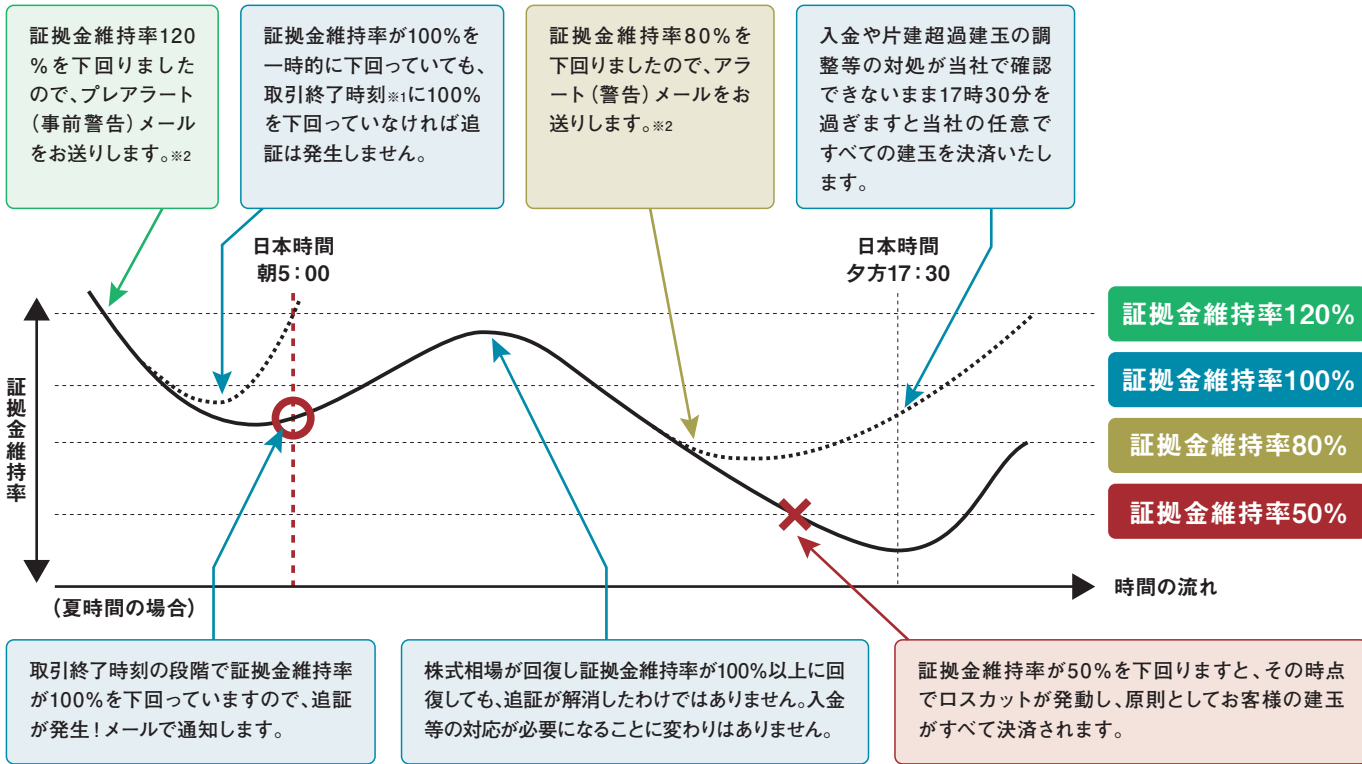
追証が発生しますと、この「証拠金不足額」に不足金額が表示されます。この金額以上をご入金されるか、建玉の一部決済等による不足額以上の維持証拠金額の減額の対応が必要となります。

※証拠金不足となった場合でも、既に発注済みの予約注文(新規・決済を問わず全て)は取消されませんのでご注意ください。そのため、証拠金不足の発生後かつ未決済の状態において当該予約注文が成立し、維持証拠金額が増加した場合には、その増加分を含めて証拠金不足の解消が必要になります。

[重要] 追加証拠金について

お客様において証拠金不足を解消いただけない場合には、当社は取引所株価指数証拠金取引約款第6条の規定に則り、全建玉をお客様の計算において任意に処分させていただきます。

ゆたかCFD追証発生時の対応について(シミュレーション)



- ご注意ください!**
- ①自動ロスカットシステムは、取引時間中においてリアルタイムでロスカット判定を行っています。
 - ②建玉をお持ちの場合は、定期的に口座の証拠金維持率をご確認ください。当社では、相場の急変動も想定の上、余裕のある証拠金維持率を維持していただくことをお勧めいたします。
 - ③ご入金のお手続きをしていただいても、金融機関の当日取扱時間を過ぎて翌日扱いとなるなど、追証対応期日の17時30分までに当社にて着金確認が行えない場合には追証対応とはなりません。
 - ④取引所の取引再開日が国内の金融機関の休業日にあたる場合、追証未対応であっても建玉の強制決済は行いません。ただし、ロスカットシステムは常に作動しています。

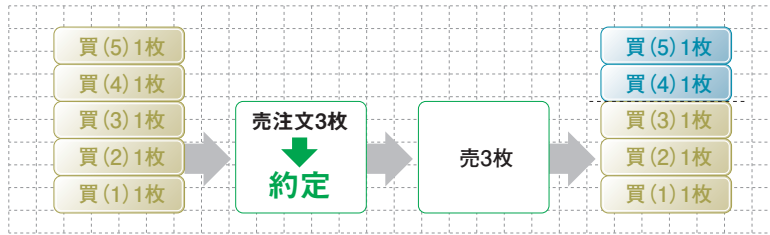
追加証拠金	プレアラートメール	アラートメール	ロスカット
有効証拠金額が日々の取引終了時点で維持証拠金額を下回った場合、建玉を維持するために追加して差し入れる証拠金	有効証拠金額が維持証拠金額の120%を下回った場合、事前警告のために送られる第一段階のメール	有効証拠金額が維持証拠金額の80%を下回った場合、警告のために送られる第二段階のメール	有効証拠金額が維持証拠金額の50%を下回った場合、損失の拡大を防ぐために自動的に行われる強制決済システム(取引時間中は常に稼働)

*1 取引終了時刻等の取引時間に関しましては、別紙取引要綱をご覧ください。
 *2 プレアラート値は120%、アラート値は80%に設定されており、お客様ご自身での設定変更はできません。

両建てについて

「両建て」とは、同一の株価指数銘柄(リセット日も同一)において売り建玉と買い建玉を同時に保有することです。

例 ある株価指数銘柄で、先に成立している各1枚の買い建玉(1)～(5)がある状態で、新たに売り注文3枚を約定した場合、転売の指示を行わずに(買い建玉(1)～(5)のいずれとも決済せずに)、新たに3枚の売り建玉を保有した例です。



●両建ての場合の維持証拠金について

売り建玉と買い建玉の双方を保有している場合、売り建玉又は買い建玉のいずれか超過している建玉分(片建超過建玉分)のみの維持証拠金が必要となります。上記の例の場合、2枚の超過した買い建玉に対する維持証拠金は必要となりますが、両建となっている建玉に対する維持証拠金は必要ありません。ただし、両建ての一方を決済することで片建て部分の枚数が増える場合、増加分に相当する維持証拠金が必要となります。なお、リセット日の異なる同一銘柄の場合、売り建玉と買い建玉の双方を保有していたとしても両建ての扱いとはならず、維持証拠金がそれぞれ必要となります。また、下記の建玉整理の対象外となりますのでご注意ください。

●両建ての場合の金利相当額・配当相当額について

売り建玉と買い建玉の双方を保有している場合、両建て部分の建玉については金利相当額・配当相当額が相殺されるため、実質的に買い(売り)越し部分の建玉に対して金利相当額・配当相当額が発生します。上記の例の場合、買い越ししている2枚の建玉に対して金利相当額・配当相当額が発生することになります。

※両建てを選択した場合、建玉を片方ずつ減らす際にはそれぞれの手数料が別途徴収されますので、二重の手数料負担となります。ただし、建玉整理による決済、及びリセット付証拠金取引におけるリセット時のリセット値での決済の場合には、当社の手数料は無料としています。

●両建ての場合の新規発注について

発注時に、両建てに必要な新規手数料額以上の残高が発注可能額にある場合のみ、両建て目的の新規発注が可能ですが、残高が不足する場合は発注できません。(追証対応を除く)

転売・買戻しの申告について【建玉整理】

同一の株価指数銘柄(リセット日も同じ場合)において、保有している両建ての建玉(売り・買い同枚数)を、取引時間中であればいつでも転売・買戻しの申告によって決済することができます。これを「建玉整理」といいます。

注) 建玉整理の申告は、取引終了10分前までの受付となります。

例 10月27日にある株価指数銘柄で、各1枚の買い注文(1)～(5)を約定させました。翌28日に新たに売り注文3枚を約定させて両建てとしました。10月30日に、買い建玉(2)、(5)と売り建玉のうち2枚を指定して申告を行い、その結果、買い建玉(1)、(3)、(4)と売り建玉の残り1枚を両建てとして引続き保有した例です。

10月27日	10月28日	10月30日
買い注文 1枚×5件(1～5)の 計5枚を約定する。	売り注文3枚を約定させ、 両建てとする。	決済したい買い建玉2枚(2、5)と 売り建玉3枚のうち2枚を申告により指定し決済する。
買(5)1枚 買(4)1枚 買(3)1枚 買(2)1枚 買(1)1枚	買(5)1枚 買(4)1枚 買(3)1枚 買(2)1枚 買(1)1枚 売3枚	買(5)1枚 買(4)1枚 買(3)1枚 買(2)1枚 買(1)1枚 売3枚 売1枚 買(4)1枚 買(3)1枚 買(1)1枚

①市場で反対売買を行う必要がないため、売買スプレッド分のコスト負担がありません。また、建玉整理による決済手数料は無料です。

②売り・買いの建玉に同一の金利相当額・配当相当額が適用されることから、金利相当額・配当相当額による逆ざやが発生することがありません。

各ライセンスのディスクレーマー

日経平均株価(日経225):

「日経平均株価」は株式会社日本経済新聞社(以下「日本経済新聞社」といいます。)によって独自に開発された手法によって算出された著作物であり、日本経済新聞社は「日経平均株価」自体及び「日経平均株価」を算出する手法に対して、著作権、知的財産権、その他一切の権利を有しています。「日経平均株価」を対象とする株価指数証拠金取引(以下「本件証拠金取引」といいます。)に関するすべての事業、取引規制および実施は、専ら株式会社東京金融取引所(以下「金融取」といいます。)およびその参加者の責任であり、それらについて日本経済新聞社は一切の義務ないし責任を負うものではありません。本件証拠金取引市場を運営するに当たり本件証拠金取引に必要となる「日経平均株価」採用銘柄の配当落ち分は、金融取の責任の下、算出及び公表しています。日本経済新聞社は「日経平均株価」の採用銘柄、算出方法、その他「日経平均株価」の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。日本経済新聞社は「日経平均株価」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負うものではありません。

DAX®:

DAX® はコンティゴインデックスGmbH及びドイツ取引所グループ(以下「コンティゴ」)の登録商標です。DAX® リセット付証拠金取引は、コンティゴにより保証、推奨、販売等いかなる形においてもサポートされているものではありません。コンティゴは、DAX® リセット付証拠金取引でのインデックス利用に伴う結果及びインデックストレードマークの利用、ある時点でのインデックスの価格等いかなる点においても、明示的及び黙示的な保証及び代理権を与えているものではありません。インデックスはコンティゴで計算し公表しています。しかし、適用可能な限りの制定法下において、コンティゴは第三者に対しインデックスの誤謬について責任を負いません。さらに、インデックスの誤謬の可能性を指摘する義務を、投資家を含む第三者に対して一切負いません。コンティゴによるインデックスの公表及びDAX® リセット付証拠金取引へのインデックスとインデックストレードマークの利用を認めたことによって、コンティゴとしてDAX® リセット付証拠金取引への投資を推奨し、またはこの投資の魅力について意見を表明するもしくは保証するものではありません。コンティゴはインデックス及びインデックストレードマークの唯一の権利所有者として、東京金融取引所に対してDAX® リセット付証拠金取引に関連してインデックスとインデックストレードマークを利用及び参照することを認めたものです。

FTSE® 100:

"FTSE®"はロンドン証券取引所グループの登録商標であり、FTSE International Limited(以下「FTSE社」)がライセンスのもと使用しています。FTSE® 100(以下「インデックス」)に関するすべての権利は、FTSE社またはそのライセンスに帰属します。FTSE社、フランク・ラッセル社(以下「ラッセル社」)、その関連会社またはライセンスのいずれも、(a)インデックスに基づく派生商品に関して、いかなる責任、損失、損害、費用、義務を負うものではなく、(b)インデックスまたは関連データの誤りや省略、特定目的への適合性、利用から得られる結果についていかなる責任も負いません。FTSE100リセット付証拠金取引に使用されるインデックスやインデックス関連データは、FTSE社、ラッセル社またはその関連会社が所有するものであり、いかなる者もインデックスに依拠することはできません。FTSE社またはラッセル社の書面による明示的な同意がない限り、インデックスの使用または配布をすることはできません。FTSE社およびラッセル社は、FTSE100リセット付証拠金取引およびそれに関連する金融商品または派生商品の、宣伝、後援または承認をするものではありません。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均(NYダウ):

Dow Jones Industrial Average™(ダウ・ジョーンズ工業株価平均)は、S&P Dow Jones Indices LLC(以下「SPDJ」)が算出する指数であり、SPDJがライセンスに係る権利を保有しています。「DJIA®」、「The Dow®」、「Dow Jones®」及び「Dow Jones Industrial Average」(ダウ・ジョーンズ工業株価平均)のサービス・マークは、Dow Jones Trademark Holdings, LLC(以下「DJTH」)からSPDJにライセンス供与されており、株式会社東京金融取引所(以下「金融取」)による一定の目的のために、SPDJから金融取へ使用に関するサブライセンスが付与されています。金融取に上場されるダウ・ジョーンズ工業株価平均を原資産とするNYダウリセット付証拠金取引は、SPDJ、DJTH及びそれらの関連会社により後援、承認、販売又は宣伝されるものではなく、これらのいずれもかかる商品への投資の妥当性に関していかなる保証・表明もしていません。

NASDAQ-100:

NASDAQ-100リセット付証拠金取引(以下「本件取引」といいます。)は、Nasdaq, Inc.及びその関連会社(以下「Nasdaq」といいます。)がスポンサーとなり、推奨し、販売または宣伝しているものではありません。Nasdaqは、本件取引の合法・適法性、または本件取引に関する説明や開示の正確性及び妥当性について何ら開示するものではありません。Nasdaqは、本件取引を行う投資者や一般の方々に対して、有価証券への投資や、特に本件取引への投資を推奨したり、またはNasdaq-100 Index®が一般的な株式市場のパフォーマンスに追従するものであることを、明示的にも黙示的にも表明・保証しません。株式会社東京金融取引所(以下「金融取」といいます。)に対するNasdaqの唯一の関係は、Nasdaq®、Nasdaq-100 Index®、Nasdaq-100®、NDX、その他のNasdaqの特定の商号の使用と、金融取または本件取引に関係なくNasdaqによって決定、構成および計算されるNasdaq-100 Index®の使用に係るライセンス供与のみです。Nasdaqは、Nasdaq-100 Index®の決定、構成または計算において、金融取(及びその取引参加者)または本件取引を行う投資者のニーズを考慮する義務はありません。Nasdaqは、金融取の開示する市場に上場される本件取引について、その時期や、価格、数量・取引単位の決定、または本件取引の決済方法等の決定または計算に責任を負わず、何らの関与もしていません。Nasdaqは、本件取引の運用管理、マーケティング又は取引に関して一切の責任を負いません。

Nasdaqは、Nasdaq-100 Index®またはそれに含まれるデータが正確であることおよび計算が中断されないことを保証するものではありません。Nasdaqは、Nasdaq-100 Index®またはそれに含まれるデータの使用により、金融取(及びその取引参加者)、本件取引を行う投資者、またはその他の個人や団体が得る結果について、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Nasdaqは、Nasdaq-100 Index®またはそれに含まれるデータに関して、明示的または黙示的な保証を行わず、商品性または特定の目的や用途への適合性に関するいかなる保証も明示的に放棄します。上記を制限することなく、たとえ損害の可能性を知らされていたとしても、Nasdaqは、逸失利益、特別損害、偶発的損害、懲罰的損害、間接的損害または結果的損害について一切の責任を負いません。

ラッセル® 2000:

"Russell®"はフランク・ラッセル社(以下「ラッセル社」)の登録商標です。Russell® 2000(以下「インデックス」)に関するすべての権利は、ラッセル社またはそのライセンスに帰属します。FTSE International Limited(以下「FTSE社」)、ラッセル社、その関連会社またはライセンスのいずれも、(a)インデックスに基づく派生商品に関して、いかなる責任、損失、損害、費用、義務を負うものではなく、(b)インデックスまたは関連データの誤りや省略、特定目的への適合性、利用から得られる結果についていかなる責任も負いません。ラッセル2000リセット付証拠金取引に使用されるインデックスやインデックス関連データは、FTSE社、ラッセル社またはその関連会社が所有するものであり、いかなる者もインデックスに依拠することはできません。FTSE社またはラッセル社の書面による明示的な同意がない限り、インデックスの使用または配布をすることはできません。FTSE社およびラッセル社は、ラッセル2000リセット付証拠金取引およびそれに関連する金融商品または派生商品の、宣伝、後援または承認をするものではありません。

重要事項説明書(必ずお読みください)

「ゆたかCFD(くりっく株365)」(2024年9月)

【会社の概要】

商号：豊トラスティ証券株式会社、金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第299号
所在地：〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-16-12
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
問い合わせ先：お客様サポートデスク 0120-365-281

【リスクの概要】

- 価格変動リスク・金利変動リスク・流動性リスク・信用リスク・システム障害リスク(取引システム又は取引所、当社及びお客様を結ぶ通信回線等が正常に作動しないことにより、注文の発注・執行・確認・取消し等が行えないこと)等により損失が生ずる恐れがあります。
- 取引により元本損失・元本超過損が生ずる恐れがあります。
- 取引をする際には、お客様は買い気配値で売り、売り気配値で買うことができます。なお、通常買い気配値よりも売り気配値の方が高く、この価格差(スプレッド)は相場急変、為替変動によって広がったり、連続的な提示が不可能又は困難となったりする可能性があり、意図した通りの取引ができないことがあります。
- 原資産の株価指数によって、買建玉保有者は金利相当額を支払い、配当相当額を受け取る一方、売建玉保有者は金利相当額を受け取り、配当相当額を支払う必要があります。このため、金利及び配当額の変動によって、それぞれの受取額が減少又は支払額が増加するリスクがあります。
- 株価指数の種類によって制限値幅を導入しているものがあるため、市場の状況によっては意図した通りの取引ができないことがあります。また、取引所株価指数証拠金取引の価格は、現物の株価指数や上場投資信託(ETF)の価格そのものではないため、需給関係、相場の状況等によっては乖離が拡大し、その結果、現物の株価指数やETFの価格から想定していた価格で取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。
- 追加証拠金の預託又は片建超過建玉の調整等により証拠金不足の解消(追証対応)を取引再開日の日本時間17時30分(取引時間の短縮等の変更の場合には、取引再開日の日本時間12時30分)までに行わなかった場合には、お客様の計算において保有する全ての建玉が任意に決済されます。なお、取引所の取引再開日が国内の金融機関の休業日の場合、当該建玉の処分は行いません。また、追証未対応による強制決済の場合、強制決済時に決済玉が取引時間外のときには、その取引再開時まで当該建玉の決済は持ち越されますが、その間の取引は強制決済が完了するまで行うことができません。
- ロスカット発動の判定がなされた場合には、原則自動的に取引時間内の全ての建玉が決済されます。ロスカット発動時に取引時間外等の事由により建玉が残った場合には、原則取引再開時以降の価格で当該建玉についてのロスカットによる反対売買が順次行われます。
- 両建ての一方を減じて片建て玉が増える決済注文を出す場合、決済枚数に相当する維持証拠金額が必要となります。
- リセット付株価指数等証拠金取引において、取引最終日の終了時(日経225及び日経225マイクロは日本時間15時25分)までに、転売・買戻しが行われなかったために決済されない建玉はリセット日においてリセット値により決済されるため、当該建玉はロールオーバーされません。

【証拠金とレバレッジ】

維持証拠金は東京金融取引所がリスクに応じて算定する証拠金基準額及び対象指標である株価指数やETFの価格に応じて当社が別途定める金額によって変動しますので、取引所株価指数証拠金取引の取引金額に対する比率(レバレッジ)は、常に一定ではありません。また、少ない元手で大きな利益を手に行うことができますが、反面、大きな損失につながることもありますので、自己の判断と責任において取引を行う必要があります。なお、お客様が差し入れる証拠金は、東京金融取引所に全額直接預託することにより、当社の資金とは分別されるとともに、東京金融取引所においても同取引所の資産と分別して管理されます。また、お客様から預託を受けた証拠金が当社に滞留する場合は、株式会社三井住友銀行における金銭信託により、当社の自己の資金とは分別して管理します。

【コスト】

売買手数料は、1取引単位当たり片道2,970円(消費税込・日経225マイクロ、NYダウ及びNASDAQ-100は10分の1)が最大でかかります。ただし、リセットによる建玉決済、両建玉の転売・買戻しの申告(建玉整理)の手料は無料とします。なお、反対売買時に既存の建玉を決済しないで両建てを選択した場合、建玉を片方ずつ減じる際にはそれぞれの手料が徴収されますので、二重の手料負担となります。

【取扱株価指数等証拠金取引について】

当社では、リセット付株価指数等証拠金取引として東京金融取引所の取り扱う日経225リセット付証拠金取引、日経225マイクロリセット付証拠金取引、DAX[®]リセット付証拠金取引、FTSE100リセット付証拠金取引、NYダウリセット付証拠金取引、NASDAQ-100リセット付証拠金取引、ラッセル2000リセット付証拠金取引、金ETFリセット付証拠金取引、銀ETFリセット付証拠金取引、プラチナETFリセット付証拠金取引及び原油ETFリセット付証拠金取引の11種類を取り扱います。

【その他】

お客様の注文執行後に当該注文に係る契約を解除すること(クーリングオフ)はできません。
個人の場合、原則利益金は雑所得として申告分離課税の対象となり、確定申告をする必要があります。税率は、所得税が15%、復興特別所得税が所得税額×2.1%*、地方税が5%となります。その損益は、差金等決済をした他の先物取引等の損益と通算でき、また通算して損失となる場合は、一定の要件の下、3年間繰り越すことができます。
*復興特別所得税は、2013年から2037年まで(25年間)の各年分の所得税の額に2.1%を乗じた金額(利益に対しては、0.315%)が、追加的に課税されるものです。